

SIG「姿勢保持」講習会2009 in埼玉 開催のご案内

(主催: 日本リハビリテーション工学協会・SIG姿勢保持)

SIG(Special Interest Group)「姿勢保持」は、1987年から日本リハビリテーション工学協会の分科会として、専門的な教育普及活動を行っています。今年も、8月29日(土)~30日(日)に埼玉県朝霞市の東洋大学朝霞キャンパスで講習会を開催いたします。

本講習会では、特に小児から高齢者を対象とした姿勢保持の基礎的な理論や技術に焦点を当て、「姿勢保持の基礎理論と現場に役立つ知識と技術—障害のある小児・高齢者の姿勢保持を考える—」をテーマに、リハビリテーションの現場や研究機関で活動している専門家が講師となって実施いたします。加えて姿勢保持具を製作する実技講習と企業による姿勢保持関連の最新の機器展示およびプレゼンテーションを計画しています。

また、一人でも多くの方に姿勢保持の基礎を学んでいただけるよう、学生価格を設定しました。医療、福祉、特別支援教育を学んでいる学生の方は参加費割引の対象となります。(詳しい申し込み方法は参加費の欄をご覧ください)これを機会にお誘い合せの上、是非ご参加ください。

開催日 : 2009年8月29日(土)・30日(日)

会場 : 東洋大学 朝霞キャンパス

〒351-8510 埼玉県朝霞市岡 48-1

TEL / FAX 048-468-6347

特別協賛 : 東洋大学

後援 (予定) 50 音順

教育システム情報学会 日本介護福祉学会 (社)日本看護協会 日本義肢装具学会 日本義肢装具士協会
日本教育工学学会 日本車いすシーティング協会 日本言語聴覚士協会 日本建築学会
(社)日本作業療法士協会 日本シーティングコンサルタント協会 (社)日本社会福祉士会 日本褥瘡学会
日本生活支援工学会 日本人間工学会 (社)日本理学療法士協会 日本リハビリテーション医学会
バイオメカニズム学会 ヒューマンインターフェイス学会 ライフサポート学会

SIG「姿勢保持」講習会 2009 in 埼玉 現地事務局

川村義肢株式会社 事務局代表:鈴木 聖貴

〒359-1142 埼玉県所沢市上新井 760-1

TEL 04-2925-9686 / FAX 04-2922-8177

SIG「姿勢保持」講習会2009in埼玉 プログラム

9:00 受付開始

※基礎①、基礎②は同時進行ですので講習内容により、どちらか選択してください。

基礎①(講義棟 講209教室) 第1日目 8月29日(土) 定員150名

9:30～10:45 「姿勢保持に関する医学的基礎」 講師 行岡リハビリテーション専門学校 PT 加原牧子
姿勢保持を理解するために知っておきたい解剖学、運動学、生理学などの基礎を解説します。姿勢保持装置の製作をしている技術者や特別支援教育、介護現場に携わっておられる方々を対象とした内容です。

11:00～12:15 「姿勢保持の基礎と実際」 講師 横浜市総合リハビリテーションセンター RE 飯島 浩
実際に姿勢保持装置を製作・適合させるために臨床の現場で必要となる情報(プロセス・視点・姿勢保持装置など)を提供します。

基礎②(講義棟 講314教室) 第1日目 8月29日(土) 定員250名

9:30～10:45 「製作技術の実際」 講師 横浜市総合リハビリテーションセンター PO 児玉真一
技術者だけでなく、医療関係者などの多職種にも役立つ姿勢保持装置製作に必要な採寸・採型のポイントと手法を解説します。

11:00～12:15 「姿勢保持に関する技術的な基礎知識」 講師 東洋大学 RE 繁成 剛
姿勢を保持することが困難な人を、適切な姿勢でサポートするための技術的な基礎知識について解説します。
PT、OT など医療関係者および特別支援教育に関わる方を対象とした内容です。

<12:15～13:45 昼休み>

12:50～13:35 「展示企業によるプレゼンテーション」 司会 齋藤芳徳 篠原 勇 (講312、313教室)
昼休み時間に、展示企業による最新の姿勢保持関連機器の紹介を行います。

13:45～15:15 特別講演(講義棟 講314教室) 第1日目 8月29日(土)定員300名

司会 繁成 剛

講師 小池 純子 先生 (横浜市総合リハビリテーションセンター センター長)

永年にわたって姿勢保持装置の処方と適合にリハビリテーション専門医として関わってこられた経験を基に姿勢保持に関する医療、支援技術そして制度に関する現状と今後の課題について語っていただきます。

15:35～16:45 「姿勢保持実践レポート」 司会 北九州市立総合療育センター RE 中村詩子 (講義棟 講314教室)

自由参加

姿勢保持に関する取り組みや適用例などについてさまざまな分野の方々に発表していただきます。発表内容はすでに発表されているものでもかまいません。応募者の職種は問いません。但し商品のみでの宣伝はご遠慮ください。応募作が採用された方は、講習会参加費が無料になります。尚、採用の審査は SIG 姿勢保持世話人会で行いますので、ご了承ください。申込みは別紙にてお申込みください。

17:00～18:15 わくわく体験会(実験工房)自由参加

・おもしろ車いす試乗会

自転車付車いす(DUET)、ハンドサイクル、テニス用車いす、ユニビークル等の試乗会をキャンパス内の敷地で行う予定です。

・実験工房の見学

工作工房と製図室とホールが一体となった教育施設を見学することができます。

3層強化段ボールを使って制作した椅子や遊具などの学生の作品も展示しています。

・採型器(KC3)と圧力分布測定装置(FSA)の体験

実験工房内に設置した KC3 と FSA を使用して採型(シュミレーション)と体圧の測定を体験できます。

18:30～20:30 「懇親会」 (会場は学生食堂を予定しています)

お食事とお飲み物をご用意しております(参加費1000円)。多くの参加者のみなさまと姿勢保持との関わり合いについてお話しく思います。奮ってご参加ください。

※応用①、応用②は同時進行ですので講習内容により、どちらか選択してください。

応用①高齢者（講義棟 314教室） 第2日目 8月30日(日) 定員250名

9:30～11:00 「高齢者における姿勢保持」 講師 東洋大学 RE 繁成 剛

標準的な車いすを使用している高齢者の姿勢を改善するための方法について、人間工学の側面と支援技術の側面から解説します。

「高齢者用車いすと座位保持装置」 講師 横浜市総合リハビリテーションセンター RE 飯島 浩
高齢者用車いすを考える際の具体的な留意点とクッションの工夫や生活場面で利用できる座位保持装置について解説します。

11:15～12:15 「介護施設現場での姿勢保持の取り組み」 講師 茨城大学 Dr 齋藤芳徳

介護施設における高齢者の姿勢保持の現状と福祉用具や住環境から問題解決に向けた取り組みについて解説します。

13:45～15:15 「ミニクリニック(高齢者)」 講師 RE 繁成 剛 PT 加原牧子 RE 鈴木聖貴

車いすを使用している高齢者の姿勢の評価・姿勢保持方法の検討及び対応パッド製作などの一連を実演します。

<12:15～13:45 昼休み>

12:50～13:35 「展示企業によるプレゼンテーション」 司会 大津 慶子 篠原 勇 (講 312、313 教室)

昼休み時間に、展示企業による最新の姿勢保持関連機器の紹介を行います。

応用②小児（講義棟 209教室） 第2日目 8月30日(日) 定員150名

9:30～11:00 「小児療育での実際」 講師 福井県こども療育センター PT 辻 清張

療育施設の現場やフィールドでの余暇活動の支援に役立つ姿勢の援助方法について紹介します。

11:15～12:15 「教育現場での取り組み」 講師 京都府立与謝の海養護学校 教員 篠原 勇

教育現場における姿勢保持具等の自主製作とその活用について紹介します。

13:45～15:15 「ミニクリニック」 講師 PT 工藤 俊輔 PT 辻 清張 PO 児玉真一

車いす(座位保持装置)での姿勢改善を希望される児童に対して、その場で相談に応じて調整方法やシートクッション・パッドの製作などを実演します。

実技コース（制作工房地下1階） 第2日目 8月30日(日) 定員40名

(実技コースは、8月30日(日)の他のプログラムとの重複講習は不可となります。但し見学は可能です。)

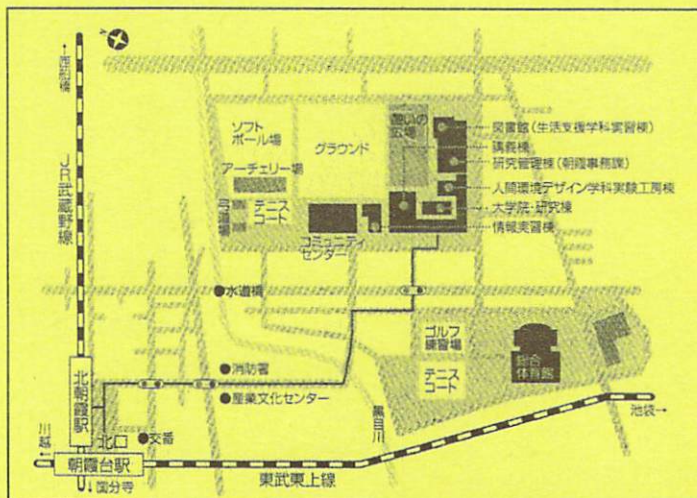
9:30～12:15 「ウレタンフォームの削りだし実習」 講師 川村義肢株式会社 RE 鈴木聖貴

ウレタンフォームを専用ナイフで削りだして姿勢保持用の各種サポートを製作する実習です。

13:45～16:15 「三層強化ダンボールの加工／製作実習」 講師 北九州市立総合療育センター RE 中村詩子

三層強化ダンボールの利用・加工方法を学び、座位保持装置や訓練具などを製作する実習です。

会場へのアクセス



【各駅からの所要時間】東武東上線「朝霞台」駅または、JR 武蔵野線「北朝霞」駅下車(徒歩 10分)、「東京」から 45分、「池袋」から 15分 (講義棟の2階と3階、実験工房棟および制作工房地下1階および食堂を使用する予定)

注意:お車でご来校のみならずには若干(約30台)の駐車スペースがございますが、満車の場合、外部の有料駐車場(朝霞駅前等)をご利用していただくことになります。

東洋大学 朝霞キャンパス
〒351-8510 埼玉県朝霞市岡 48-1

TEL / FAX 048-468-6347

参加費 いずれも申し込み先着順です。(各コースとも定員を超えた場合は参加をお断りする場合があります)

- ・今回は学生価格を設定しています。
- ・学生価格をご希望の方は学生証のコピーを必ず申込書と一緒にご提出いただきます。
- ※ 講習会当日の証明書の提示による割引や返金はできませんので、ご了承ください。
- (郵送の場合は参加申込書と同封してください。FAXの場合は参加申込書と一緒に送信してください。)
- ・各コースともテキスト代が含まれていません。(今回の講習会テキストは「小児から高齢者までの姿勢保持」医学書院発行:価格 4935 円を使用いたします。ご購入は自由ですが、事前受付にて 4500 円(割引き)にて販売します。必要に応じてお買い求めください。)
- ・実技コースは材料費等が含まれます。
- ・昼食代:周辺に食堂がないため弁当(1,000円:お茶付)の申し込みをお勧めします。

	コース	リハ工会員	SIG 会員 協賛会員	非会員	学生
8/29(土)のみ	基礎① 基礎②	3000	4000	6000	1000
8/30(日)のみ	応用① 応用②	3000	4000	6000	1000
	実技コース	6000	8000	10000	4000
8/29(土)8/30(日) 両日	基礎①②+応用①②	5000	7000	11000	2000
	基礎①②+実技コース	8000	11000	15000	5000
8/29(土)	懇親会(割引適用外)	1000			

※協賛会員とは、表紙掲載の各団体所属の会員です。

※事前にSIG姿勢保持会員に申し込み頂いた方は上記割引を適用させていただきます。(年会費1000円です)

※今回は基礎①②、応用①②の講義内容により、自由に選んでいただいてもかまいませんが、2日目の応用①②の受講者は実技コースに参加することはできません(但し見学は可能)。

参加申込先 参加申込みは、同封の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXもしくは郵送、または SIG 姿勢保持ホームページ(<http://home.att.ne.jp/moon/positioning/>)からお申し込みください。

後日、参加費振込用紙をお送りいたします。また参加証は振込み確認後、郵送いたします。

SIG「姿勢保持」講習会 2009 in 埼玉 現地事務局

川村義肢株式会社 事務局代表:鈴木 聖貴

担当:石川亜希子

〒359-1142 所沢市上新井 760-1

TEL 04-2925-9686 / FAX 04-2922-8177

申込締切日 7月25日(土)

※宿泊に関する申込み・斡旋は、事務局では行っておりませんので、各自ご手配ください。